

## 事業の名称 神楽体験と交流会事業

団体名	海潮地区振興会	事業費	205,328円
代表者	会長 錦織 忍	補助金交付額	200,000円

### 現状と課題

海潮地区には古くから伝わる海潮神代神楽がある。現在、和野・山王寺本郷・薦沢・小河内の4社中によって保存伝承されている。海潮中学校には神楽部があり、海潮小学校では、クラブ活動で神楽に取り組んでいる。しかし、海潮中学校の大東中学校への統合が決定し神楽部の活動が憂慮されている。

また、近年各神楽社中においても、後継者不足が深刻で今後の活動が心配されている。

### 事業の目的

- 神楽を通して、地区内外の子どもや若者・移住者との交流を図り、つながりを作る。
- 神楽体験をし、神楽に興味関心を持つことにより、伝統文化の継承や次世代の育成につなげる。

### 実施内容

#### ◇実施状況

海潮地区には古くから伝わる海潮神代神楽があり、現在、和野・山王寺本郷・薦沢・小河内の4社中によって保存伝承されている。そこで、次につなげるために次のような事業を行った

#### ① 神楽体験と交流会

「見て、ふれて、感じる」「やってみる」をテーマに、神楽社中の方と参加者が交流を深めた。

#### ② 海潮小学校神楽クラブへの支援

海潮小学校のクラブ活動で神楽に取り組んでおりこの活動への支援を行った。(指導支援・備品購入)(別紙2)

#### ③ 海潮中学校閉校式での神楽

海潮中学校閉校式での神楽舞のために、神楽部のOBに出演を依頼し、地元社中の協力を得て実施することができた。



#### ◇成果と課題

地区の行事やお祭りなどで神楽に触れる機会は多く、興味関心を持つ子どもは多かった。気軽に体験できる場を持つことにより、より神楽を身近に感じてくれたのではないかと思う。若い世代(親)の参加もあった。

小学校の神楽クラブは今後も継続して行われるので、引き続き支援をしていきたい。

今年の活動を通し、若い世代の神楽に興味を持つ人や中学校神楽部のOBとのつながりができ、あらたな人材の発掘につなげることができた。



海潮中学校が閉校し「神楽部」の存続が厳しいため、海潮地区振興会と神楽連絡協議が協力し「海潮子ども神楽」(仮称)の設立に向けて努力し、伝統文化の継承につなげたい。